

IV.主な事業の内容

山頂付近エリア

事業1 天空ドームの改修

現在の天空ドームを改修します。眼下には 270 度のパノラマ眺望、見上げれば満天の星空が見えるシンボリックな空間として整備し、恋人たちにとって「思い出の場所」となるような感動する展望施設を設置します。



イメージ

天空ドームの改修



天空ドームのモニュメント

事業2 展望デッキの設置

山頂にあるパノラマ展望台の西側に、休憩ができる展望デッキを設置します。

デッキ上部はテーブルを配置し眺望しながら飲食をすることができ、デッキ下部はスタンド状にすることで座ったり寝そべったりしながら眺望を楽しめるなど、皿倉山の絶景を新たな視点で楽しむことができます。



イメージ

展望デッキ

事業3 絶景の遊び場の整備

北九州で一番高い遊び場であり、皿倉山の絶景を眺めながら遊ぶことができます。絶景に向かって滑り下りる「草そり広場」や「すべり台」は圧倒的な開放感で、標高600mの場所にある「大型展望遊具」は地上部とはまた違うスリルを味わうことができるなど、皿倉山ならではの遊び場をつくります。



絶景の遊び場



イメージ



イメージ



イメージ

皿倉平中央エリア

事業4 皿倉平中央広場の整備

皿倉表登山道を登った場所にある皿倉平は、皿倉山頂や帆柱植物園、権現山、皿倉林道に交わる重要な場所となっています。ここを皿倉中央広場として、帆柱森林植物園や権現山などへ回遊性を高めることを目的とし、ファミリー層の車利用に一定程度対応することのできる駐車場兼芝生広場と管理棟を設置し（自然貴重ゾーンへの車両の立入りは規制）、新たな皿倉山の拠点として整備します。



皿倉平中央広場

事業5 アスレチックのリニューアル

ビジターセンターの向かいにある「冒険の森」の遊具をリニューアルします。よじ登ったりぶら下がったりと自然の中で体全体を使った遊びかたをイメージし、運動能力の向上を図る遊具を設置します。



現状の遊具



アスレチック遊具

イメージ

事業6 皿倉山ならではの体験

皿倉山の自然とふれあうことで新たな発見と探究心を養い、トレッキングやウォーキングなどの運動で冒険心が芽生え、体験学習やイベントを開きます。

- ビジターセンターと連携し、イベントを開催します。



自然、薬用観察、ものづくり、アウトドアなどの体験教室

- 皿倉山ケーブルカーと連携し、イベントを開催します。



山頂でのイベント

音楽祭

- 平成 28 年 8 月 11 日（祝日）の山の日に合わせて、山のイベントを開催します。



山歩きファッションショー（2012年開催）

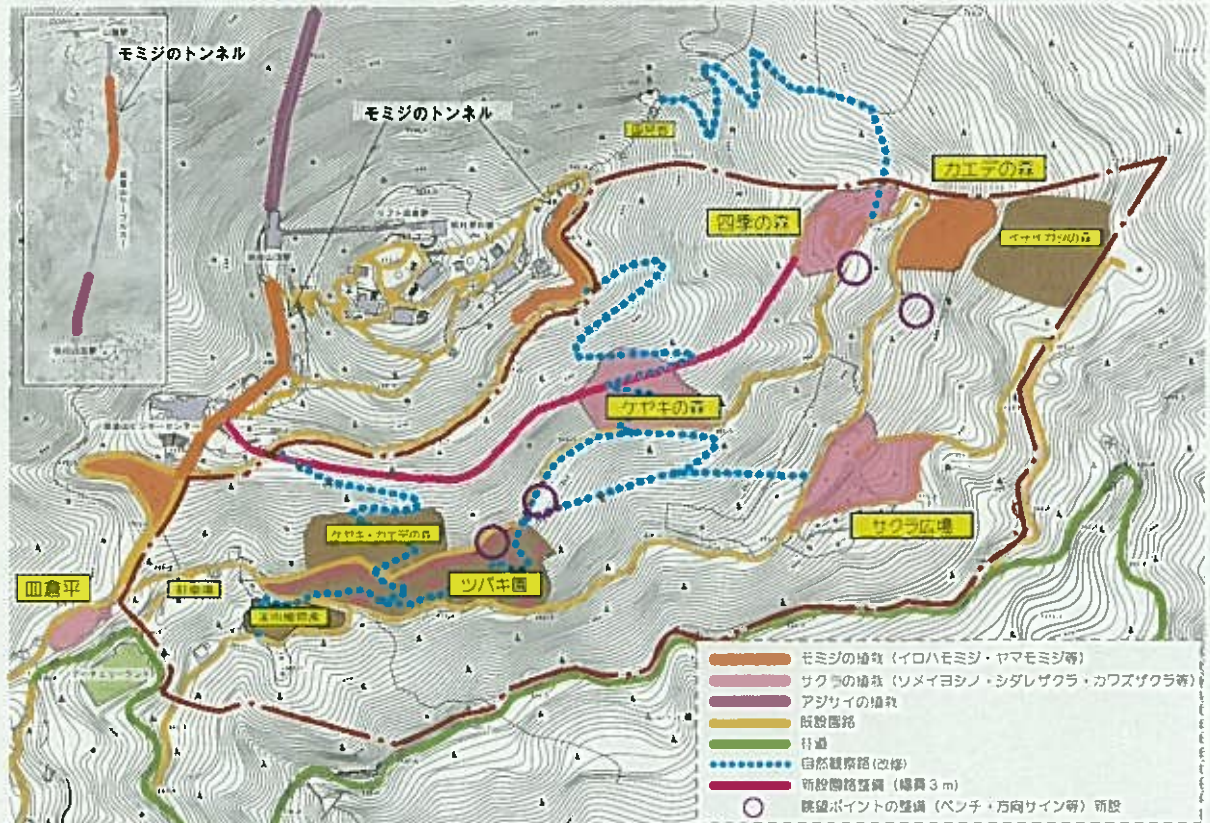
- 皿倉山に因んだ土産や物販の検討や充実をします。



皿倉山ケーブルカーで販売中の物販

事業7 帆柱森林植物園の再整備とサクラ・モミジの名所づくり

花の名所として、多くの来訪者が楽しめる自然観察路や広場など、来訪者が自然をより楽しむことができるような施設の整備を進めます。また、サクラとモミジの効果的な植栽により、皿倉山がサクラの名所、モミジの名所と呼ばれるような、四季を感じられる花の名所づくりを行います。



(1) 帆柱森林植物園の再整備

① 園路・自然観察路の整備

来園者がより快適に園内を移動し、様々な景観を楽しむことができるように、新たな園路の整備や自然観察路の改修を行います。また、既存の園路についても樹木の剪定・伐採による見通しの確保など、空間の質の向上に努めます。

② サイン・樹名札の設置

来園者が、数多くの植物を身近に学習できる樹名札や施設案内サインの設置を行います。



自然観察路の整備



施設案内サイン・樹名札の設置

(2) サクラ・モミジの名所づくり

①千本桜の名所づくり

サクラ広場・だんだん広場・洞見台には、ソメイヨシノ、カワツザクラ、シダレザクラ（シンボル樹）を植栽し、ベンチや野外卓など休養施設を設置します。サクラ広場は、帆柱森林植物園の拠点広場として、だんだん広場・洞見台は、登山客およびケーブルカー利用者がサクラを楽しむスポットとして整備します。



サクラ広場



だんだん広場



洞見台



②モミジのトンネル

皿倉山山頂に至る主要ルートの一つである皿倉山ケーブルカーの両側に、アジサイとモミジを植栽し、乗客が初夏のアジサイ、晩秋のモミジを楽しむことの出来る車窓景観の整備を行います。また山頂駅から伸びる園路の両側にイロハモミジ、ヤマモミジの植栽を行い、「北九州で一番早い紅葉のトンネル」として整備します。

帆柱森林植物園、だんだん広場等にもモミジの植栽を行い、皿倉山を「北九州で一番のモミジの名所」とします。



モミジのトンネル（皿倉山ケーブルカー）



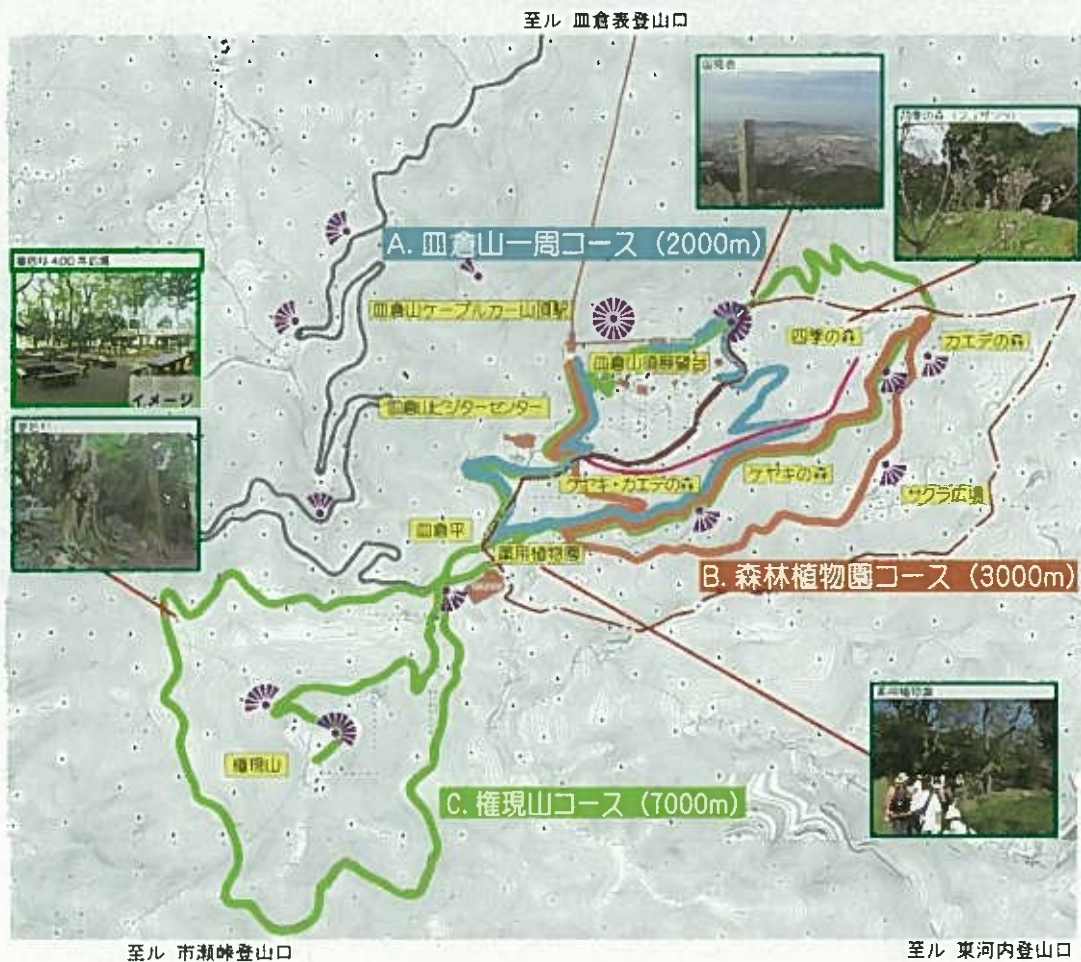
モミジのトンネル（山頂駅からの園路）

事業8 ウォーキングコースの拡充

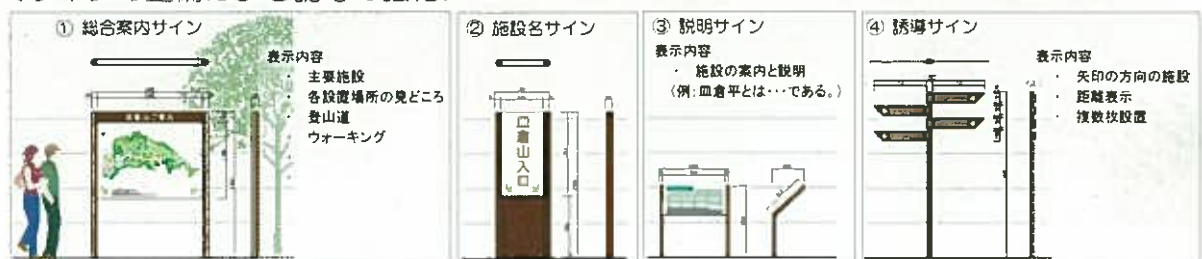
皿倉山山頂、権現山、帆柱森林植物園を回遊できる、テーマ・距離の異なるウォーキングコースを新たに3コース設定し、魅力的な自然と眼下に広がる眺望を楽しめるポイントへの広範囲な誘導を強めることで、来訪者の健康の促進ややすらぎに繋がる環境を提供します。

<新規設定コース>

- A. 皿倉山一周コース (2000m)** : 帆柱山頂駅から、森林植物園・ビジターセンターに立ち寄るショートコース。
 (帆柱山頂駅 → 皿倉山ビジターセンター → 皿倉平 → 薬用植物園 → ケヤキ・カエデの森 → ケヤキの森 → 帆柱山頂駅)
- B. 森林植物園コース (3000m)** : 帆柱山頂駅から、森林植物園を一周するコース。
 (帆柱山頂駅 → 皿倉山ビジターセンター → ケヤキ・カエデの森 → ケヤキの森 → 四季の森 → サクラ広場 → 薬用植物園 → ケヤキ・カエデの森 → 皿倉山ビジターセンター → 帆柱山頂駅)
- C. 権現山コース (7000m)** : 帆柱山頂駅から、森林植物園・権現山山頂までを歩く健脚コース。
 (帆柱山頂駅 → 皿倉山ビジターセンター → 皿倉平 → 権現山周遊道路 → 権現山山頂 → 薬用植物園 → サクラ広場 → カエデの森 → 四季の森 → ケヤキの森 → 帆柱山頂駅)



<サインの整備による誘導の強化>



帆柱公園エリア

事業 9 立体駐車場の設置

現在の山麓駅周辺の3つの駐車場では、約 100 台の駐車が可能となっています。大型連休や紅葉などのシーズンになると来訪者の増加に伴い駐車場が満車となり、路上駐車や駐車を諦めて引き返す車両が見受けられます。その対策として、約 200 台の駐車が可能となる有料の立体駐車場を設置します。それにより、西側の駐車場は大型バス 10 台の駐車が可能になります。



有料立体駐車場

アクセス対策

事業 10 サインの充実

皿倉山までのアクセスが分かりづらいという声があります。その対策として、皿倉山周辺の主要道に案内標識や誘導サインを設置し、山麓駅までカラー舗装などで分かりやすく誘導します。



誘導サインの充実 (八幡駅～山麓駅)




案内標識の充実 (各主要道)



<参考資料1：整備面積及びスケジュールの概要>

整備面積

山頂付近エリア	3450 m ²		68,950 m² 総面積
血倉平中央エリア	5000 m ²		
帆柱森林植物園・回遊エリア	57000 m ²		
帆柱公園エリア	3500 m ²		

スケジュールの概要(予定)

整備エリア \ 年度	28	29	30	31	32	33	34
山頂付近エリア		天空ドーム、絶景の遊び場、展望デッキなど					
血倉平中央エリア			中央広場、アスレチックなど				
帆柱森林植物園・回遊エリア			植物園再整備、サクラ・モミジの名所など				
帆柱公園エリア	立体駐車場					洞見台など	
アクセス対策		道路案内標識、各施設の説明サイン、総合案内サインなど					

取り組み予定

- 平成28年度～平成29年度に先行して帆柱公園の立体駐車場整備
- 平成29年度～4ヶ年程度で天空ドーム、絶景の遊び場など山頂付近の魅力向上を実施
- 順次、血倉平中央広場や帆柱森林植物園の再整備、施設完成に伴うサイン整備を推進

<参考資料2：事業の展開一覧>

山頂付近エリア

総対象面積：3450㎡

事業1 天空ドームの改修

天空ドームのリニューアル

対象面積 120㎡

現在の天空ドームを改修します。眼下には270度のパノラマ眺望、見上げれば満天の星空が見えるシンボリックな空間として整備し、恋人たちにとって「思い出の場所」となるような感動する展望施設を設置します。

事業2 展望デッキの設置

展望デッキの設置

対象面積 180㎡

山頂にあるパノラマ展望台の西側に、休憩ができる展望デッキを設置します。デッキ上部はテーブルを配置し眺望しながら飲食をすることができ、デッキ下部はスタンド状にすることで座って眺望を楽しめるなど、皿倉山の絶景を新たな視点で楽しむことができます。

事業3 絶景の遊び場の整備

① 草そり広場

対象面積 790㎡

絶景に向かって滑り降りる草そり広場では、圧倒的な解放感とスピードを楽しむことができます。

② すべり台

対象面積 270㎡

草そり広場の横に設置された延長40mのすべり台は、そりとはまた違った感覚が楽しめます。

③ 大型展望遊具

対象面積 570㎡

標高600mの場所にある「大型展望遊具」は、地上部とはまた違うスリルを味わうことができる、小さな子供も遊ぶことができます。

④ ブランコ

対象面積 220㎡

絶景を向かって漕いでいくブランコは、これまでにない浮遊感とスリルを味わえます。

⑤ 休憩施設の設置

対象面積 1300㎡

絶景の遊び場周辺に、遊んでいる子供たちを見守るようにベンチや休憩舎の設置をします。

事業4 皿倉平中央広場の整備

① 駐車場兼芝生広場

対象面積 3300㎡

皿倉表登山道を登った場所にある皿倉平に、帆柱森林植物園や権現山への回遊性を高めることを目的としたファミリー層の車利用に一定程度対応することのできる駐車場や、イベントなどの催しができる広場など、駐車場兼芝生広場と管理事務所を設置し、新たな皿倉山の拠点として整備します。

② 回遊性の向上（検討）

権現山や植物園への回遊性の向上について、マウンテンバイクの貸出などを含めてソフト面でも検討します。

事業5 アスレチックのリニューアル

アスレチックのリニューアル

対象面積 700㎡

「冒険の森」の遊具をリニューアルします。よじ登ったりぶら下がったりと自然の中で体全体を使った遊びかたをイメージし、運動能力の向上を図る遊具を設置します。

事業6 皿倉山ならではの体験

① 皿倉山ならではの体験

皿倉山の自然とふれあうことで新たな発見と探究心を養い、トレッキングやウォーキングなどの運動で冒険心が芽生え、体験学習やイベントを開きます。

② ビジター対応の充実（検討）

対象面積 1000㎡

ビジターセンターの老朽化への対応や、自然体験・催しなどの充実を検討します。

事業7 帆柱森林植物園の再整備とサクラ・モミジの名所づくり

① 帆柱森林植物園の再整備	対象面積 2800㎡
より快適に移動し、様々な景観を楽しむことができるよう、自然観察路や電動カートの導入（実施主体検討）や、既存の樹木の剪定・伐採による見通しの確保など、空間の質の向上に努めます。また、植物を身近に学習できる樹名札や施設案内サインの設置をします。	
② 皿倉山ケーブルカー沿いの植栽	対象面積 4000㎡
皿倉山山頂に至る主要ルートの一つである皿倉山ケーブルカーの両側に、アジサイとモミジを植栽し、乗客が初夏のアジサイ、晩秋のモミジを楽しむことの出来る車窓景観の整備を行います。	
③ サクラ・モミジの名所づくり	対象面積 20000㎡
帆柱森林植物園の園路沿いや皿倉平等にソメイヨシノを植栽し、まとまったサクラの花が楽しめる名所を作ります。また、山頂駅から伸びる園路の両側にイロハモミジ、ヤマモミジの植栽し、「北九州で一番早い紅葉のトンネル」として整備します。	
④ サクラ広場・だんだん広場	対象面積 11000㎡
サクラ広場・だんだん広場に、ソメイヨシノ、カワツザクラ、シダレザクラ（シンボル樹）を植栽し、ベンチや野外卓など休養施設も設置、帆柱森林植物園の拠点広場として整備します。	

事業8 ウォーキングコースの拡充

① ウォーキングコースの設定	対象面積 18000㎡
皿倉山山頂、権現山、帆柱森林植物園を回遊できる、テーマ・距離の異なるウォーキングコースを新たに3コース設定し、魅力的な自然を楽しめるポイントへの広範囲な誘導を強めることで、来訪者の健康の促進ややすらぎに繋がる環境を提供します。	
② サインの整備による誘導の強化	
来訪者のウォーキングコースへの誘導、施設や植物に関する情報提供を強化するため、ウォーキングコース上に各種サインを設置します。	
③ 皇后杉400年広場	対象面積 1200㎡
老朽化した市民キャンプ場を廃止し、壮大な皇后杉を見ながら休憩やバーベキューのできる広場として整備します。	

事業9 立体駐車場の設置

① 有料立体駐車場

対象面積 2100㎡

大型連休や紅葉などのシーズンに対応するため、駐車台数を約200台に拡張した有料の立体駐車場を設置します。

② 山麓駅前の整備

対象面積 1400㎡

山麓駅前の周辺を、石材や木材などの自然資材を使い整備し、皿倉山の自然と調和したおもてなしの空間を演出します。

アクセス対策

事業10 サインの充実

サインの充実

皿倉山周辺の主要道に案内標識や誘導サインを設置し、山麓駅までカラー舗装などで分かりやすく誘導します。来訪者の施設への誘導、施設に関する情報提供を強化するため、総合案内サインや施設名サイン、説明サイン、誘導サイン、規制サインを設置します。サインのデザインは統一し、総合案内サイン、説明サインは、多言語（日本語、英語、中国語〔簡体字・繁体字〕、韓国語）の標記を行います。